

医療法人社団プラタナス 在宅医療の取り組み

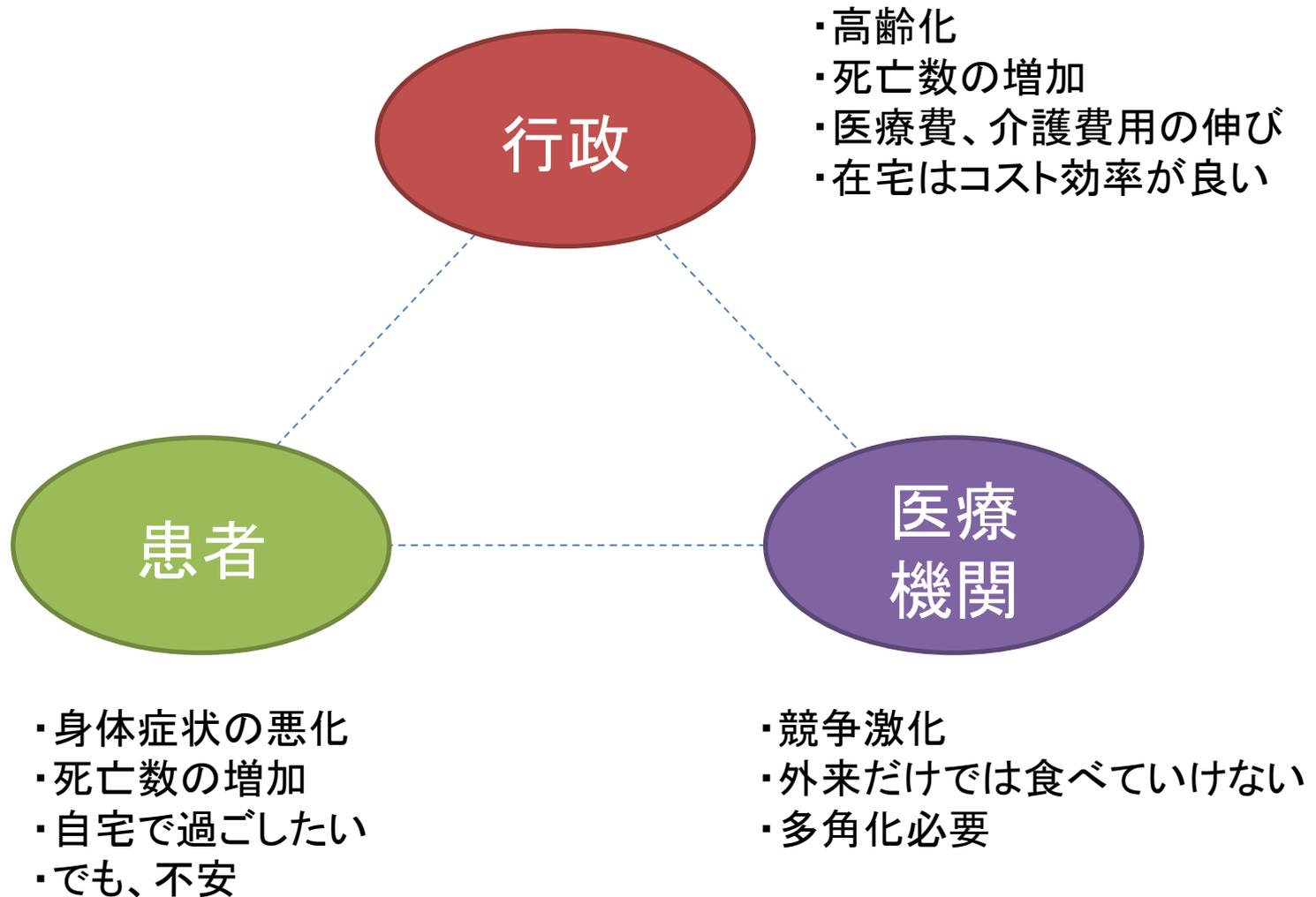
家庭医外来・介護・在宅・ターミナルケアまで



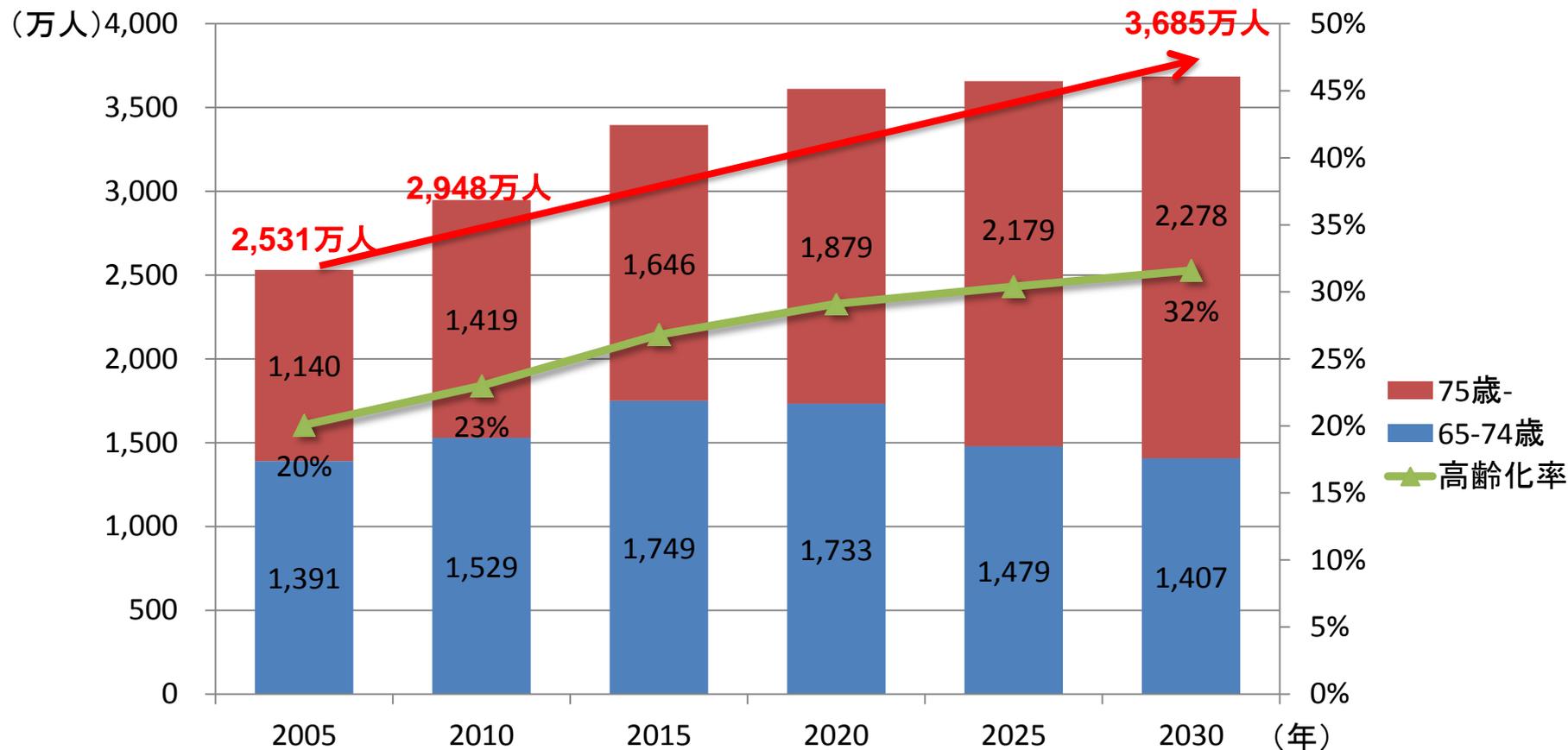
在宅医療が必要とされる背景

- ① 高齢化社会の進展
- ② 患者さんのニーズ
- ③ 国のニーズ

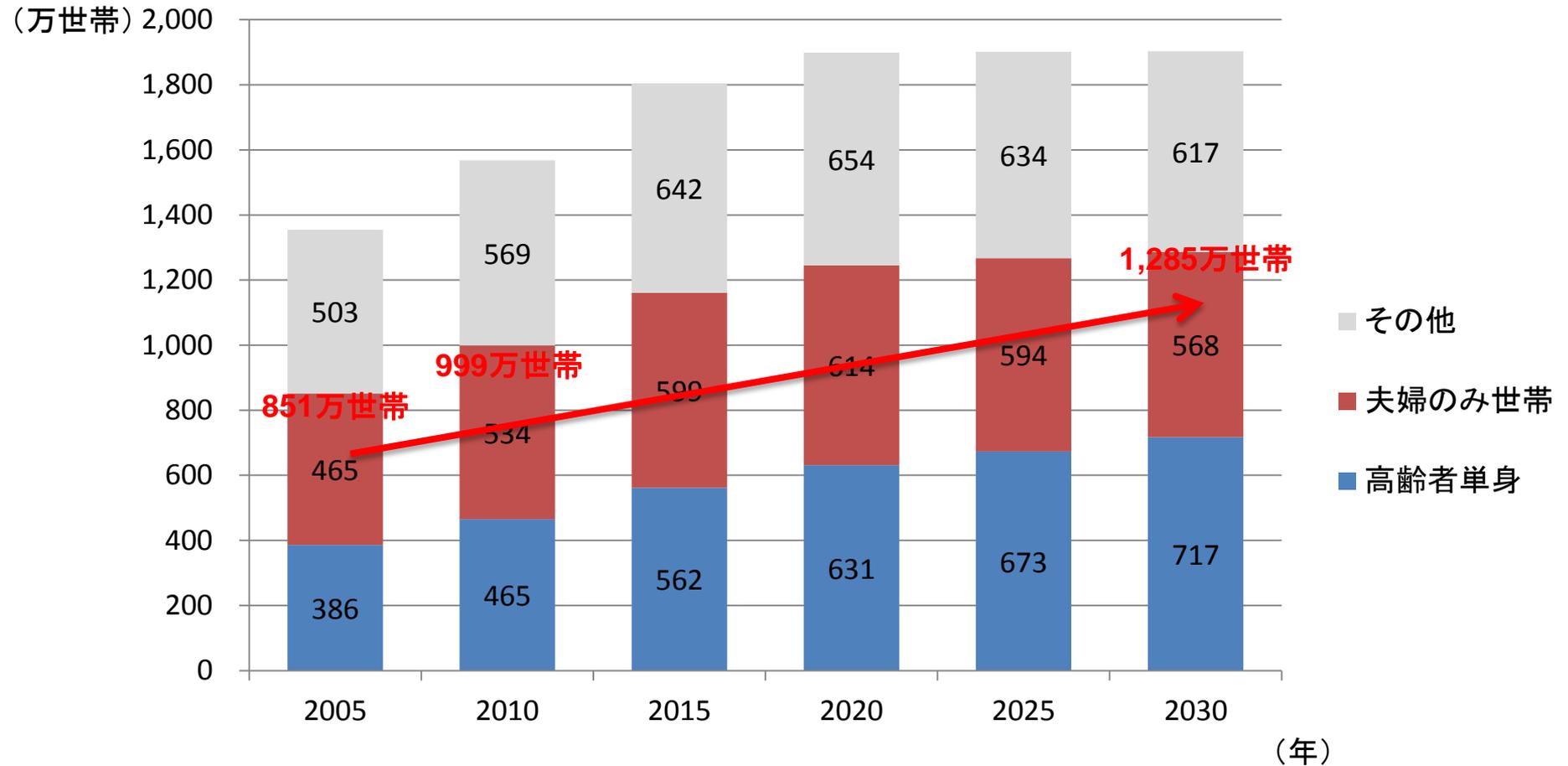
在宅医療推進の3つの視点



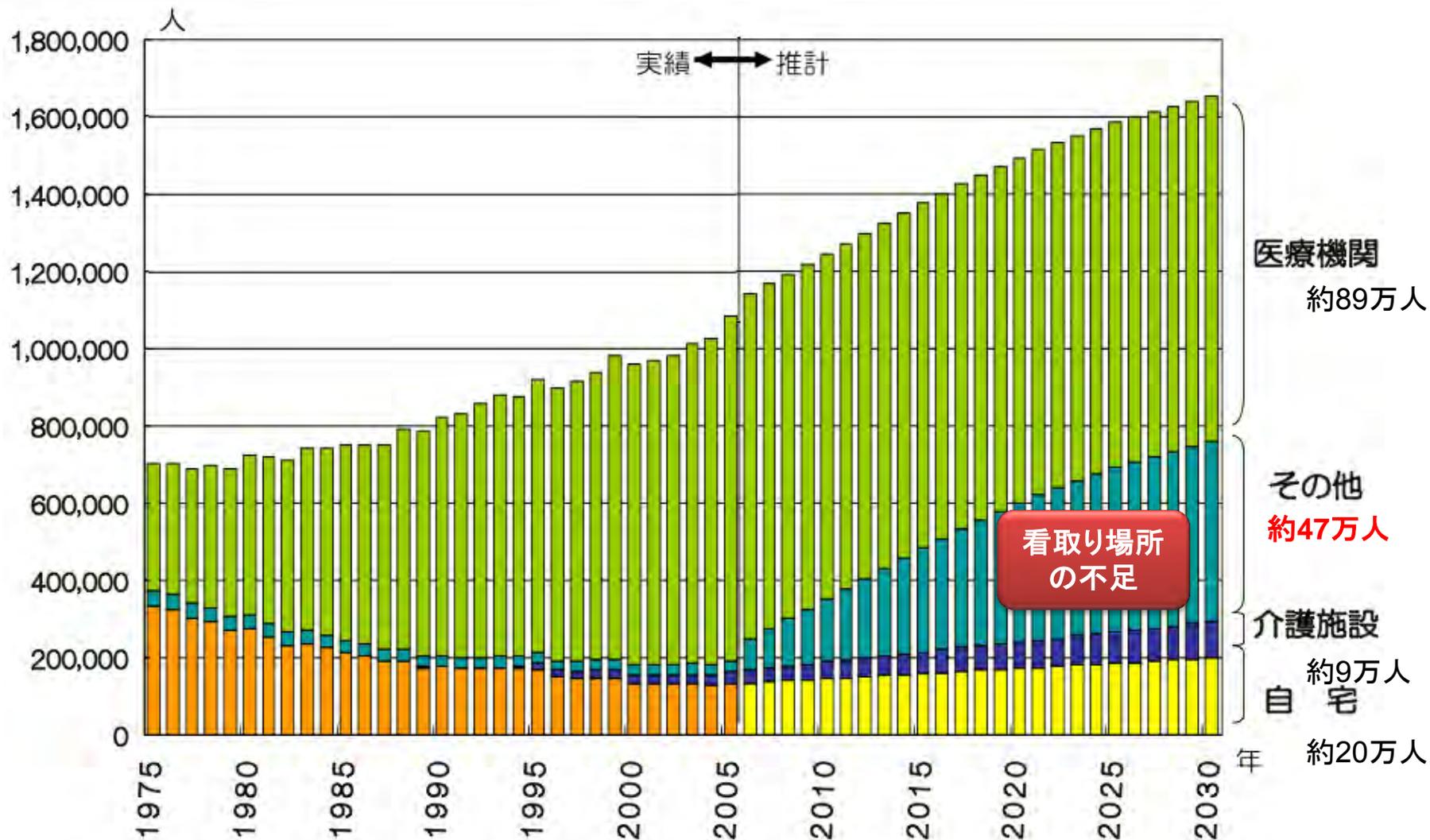
高齢者人口の増加



高齢者独居・老老世帯の増加

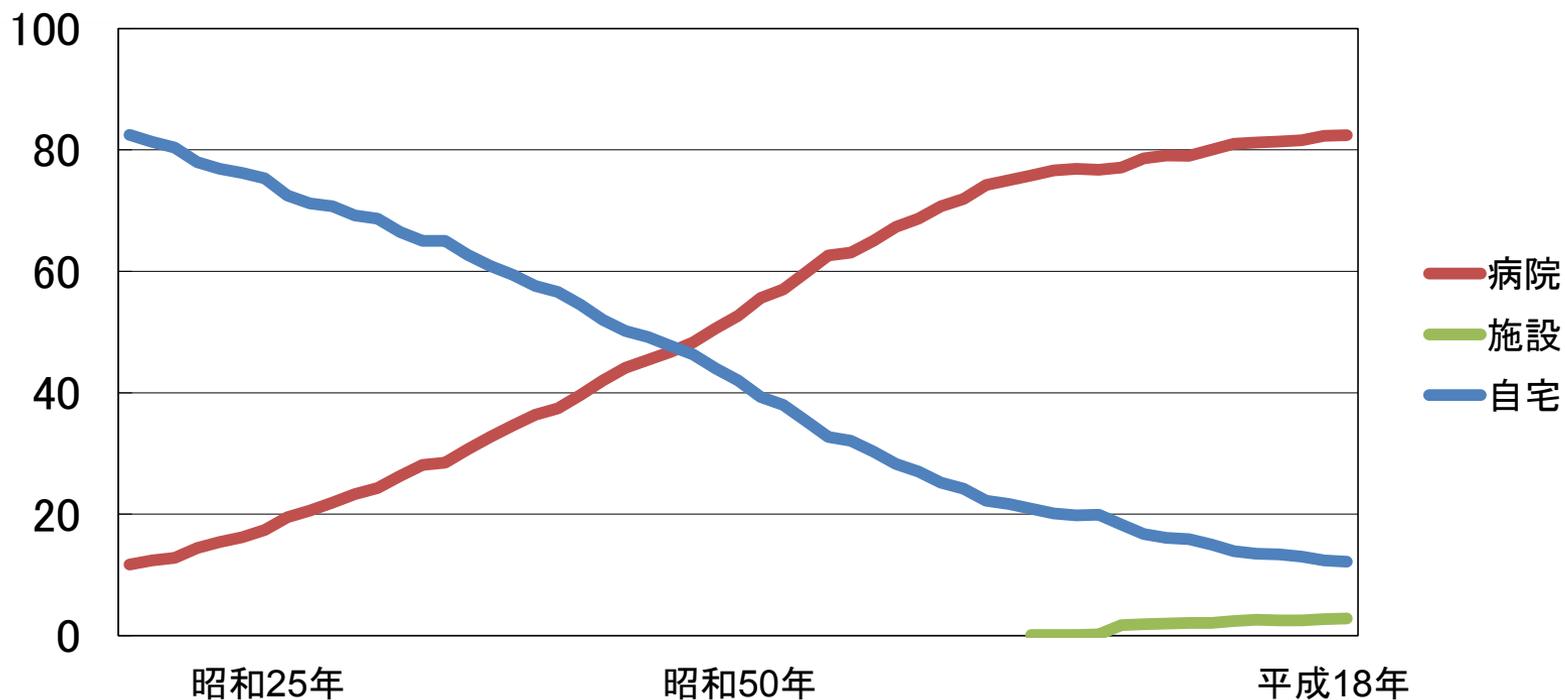


死亡場所の推移



※ 2005年までの実績は厚労省「人口動態調査」、2006年以降は国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2006年)」から推定
(将来推計の仮定)医療機関:病床数の増加なし、介護施設:現在の2倍を整備、自宅死亡:1.5倍に増加

死亡場所の推移と最期を迎えるのに理想の場所

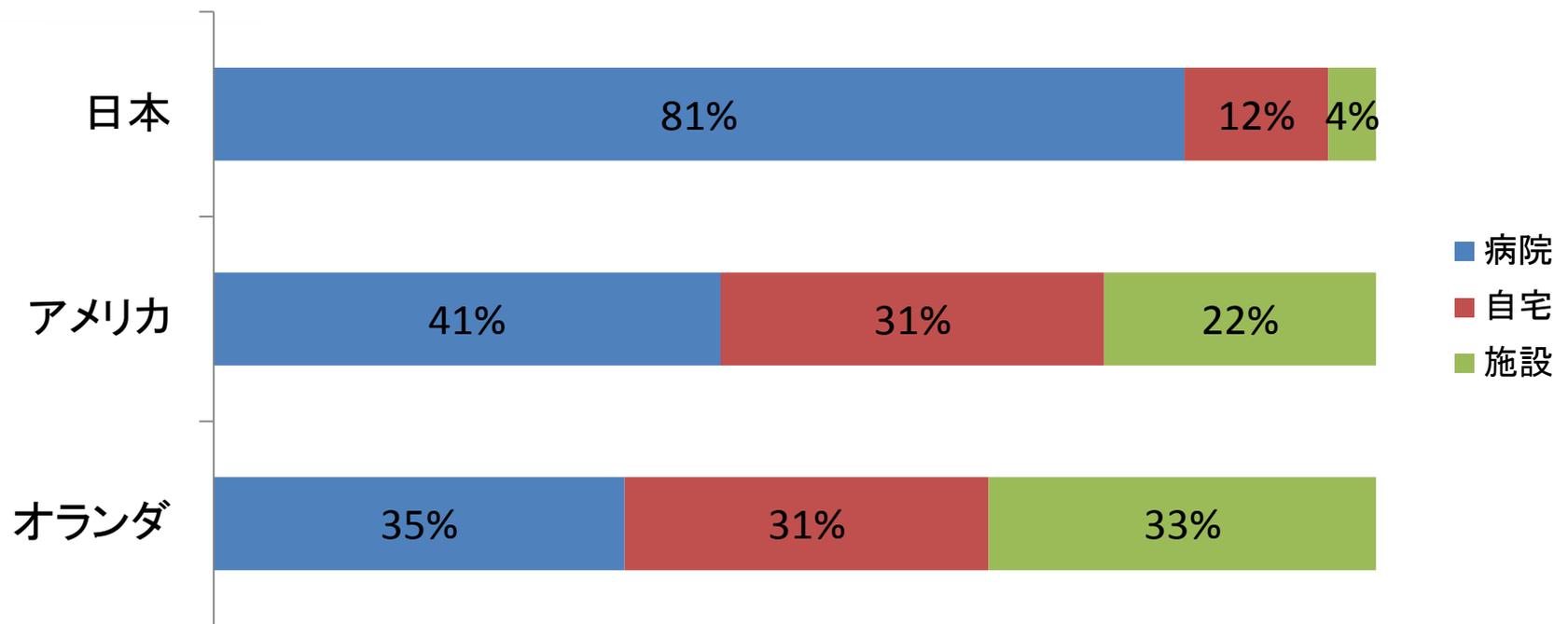


最期を迎えるのに理想の場所は？ (日本での終末期医療に関する調査)



※ 厚生労働省「終末期医療に関する調査」結果(2008年)

国別の死亡場所の差

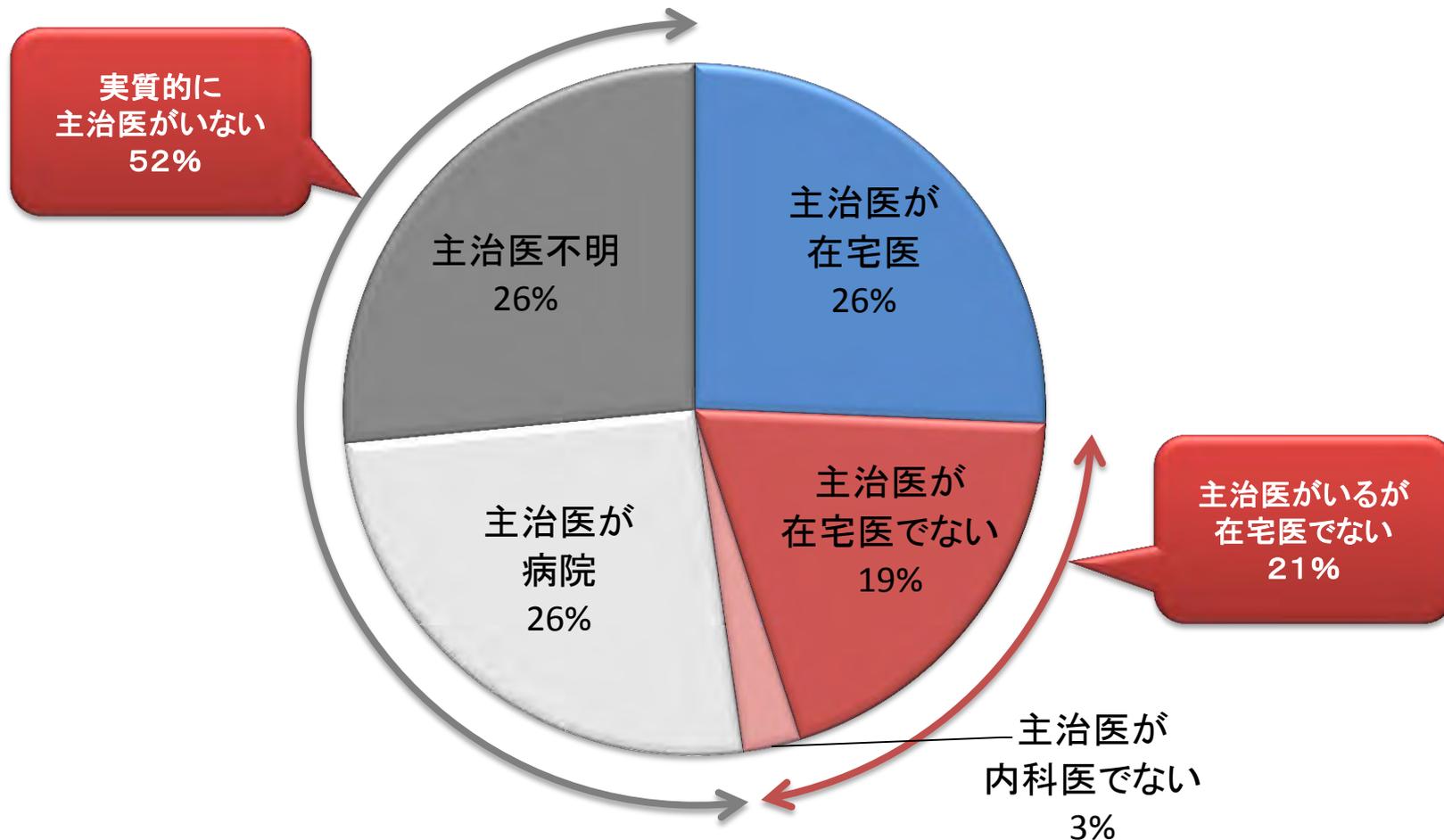


最期を迎えるのに理想の場所は？ (日本での終末期医療に関する調査)



介護保険適用者の主治医調査(デイサービスの例)

- デイサービス利用者の主治医を調査したところ、主治医が病院、主治医が不明、主治医が在宅医療を行わない人を足すと全体の4分の3になる。



地域事例:横浜市青葉区(人口35万人)の将来医療需要の定量的把握

- 青葉区の人口は今後も増加の見通しで、2035年には高齢化率が30%を超える

